

第二期長野市子ども・子育て支援事業計画 令和3年度の点検・評価について

1 第二期長野市子ども・子育て支援事業計画の概要

(1) 計画期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

(2) 計画の概要

ア 基本理念

すべての子育てが喜びとなり すべての子どもが健やかに成長するために
～わくわく子育て すくすく子ども～

イ 基本的な視点

- 子どもの最善の利益が実現される社会を目指す
- 全ての子どもの健やかな育ちを支援する
- 連続性を踏まえた発達を支援する
- 親としての成長を支援する
- 社会全体で子どもの育ち及び子育てを支え合う

ウ 基本目標及び施策体系

基本目標		基本施策		個別施策
I	結婚や子育てが楽しいと思える支援をする	①	結婚の支援	基本施策ごとに個別施策を設定 【個別施策数：27】 個別施策ごとに主な事業と関連事業を位置付け 【主な事業数：94】
		②	妊娠・出産期の支援	
II	子どもが健やかに育つよう子育て・子育てを支援する	③	幼児期の教育・保育環境の整備	
		④	幼児期の教育・保育の質の確保と向上	
		⑤	障害児支援の充実	
III	子どもと保護者がともに成長するため子育て家庭・保護者を支援する	⑥	乳幼児期から思春期までの子育て支援の充実	
		⑦	社会的支援を必要とする子どもと家庭への支援の充実	
		⑧	児童虐待防止対策の充実	
IV	地域で子どもが安心して過ごせるよう社会全体で子どもの育ち・子育てを支援する	⑨	地域における子育て支援の推進	
		⑩	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の促進	

エ 量の見込みと確保方策

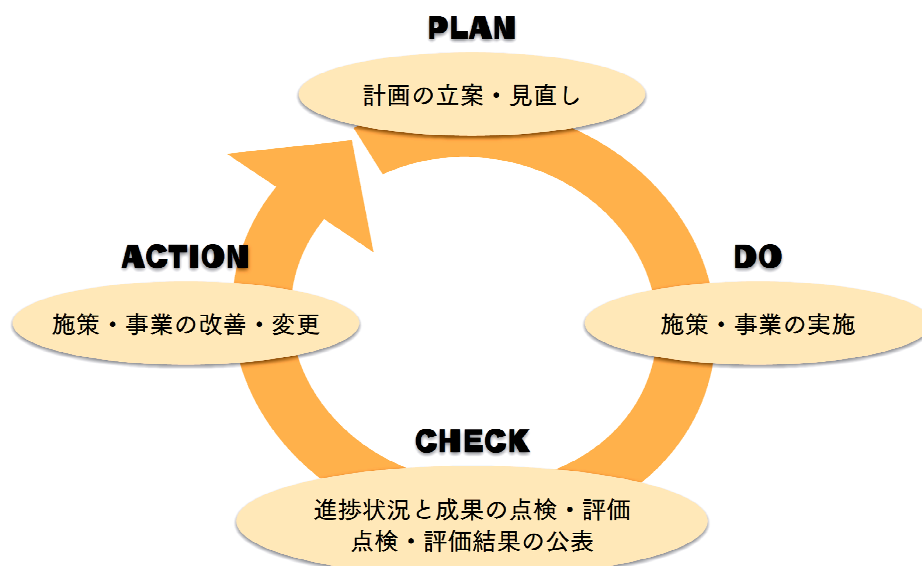
幼児期の『教育・保育事業』及び『地域子ども・子育て支援事業』について、提供区域を設定した上で、計画期間5年間の「量の見込み」と「確保方策」を設定

■ 量の見込み：利用に関するニーズ量（＝需要量）

■ 確保方策：量の見込みに対応する確保の内容（＝定員等の供給量）とその実施時期

2 点検・評価の趣旨

計画を着実に推進していくため、長野市版子ども・子育て会議である長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会において、各事業の実施状況について、毎年度、点検・評価を行い、点検・評価の結果は公表して施策・事業の改善につなげていくこととしています。令和4年度は、令和3年度実績の点検・評価を行います。



[計画の見直し及び全体の評価について]

令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
	○令和2年度実績の点検・評価	○令和3年度実績の点検・評価	○令和4年度実績の点検・評価	○令和5年度実績の点検・評価
		○事業や目標値等の見直し ○「量の見込み」等の中間見直し	○市民アンケート調査（ニーズ調査）実施	○計画全体の評価（成果指標の達成状況の評価）

また、各事業の実施状況について毎年度、点検・評価を行うとともに、社会情勢の変化や国の制度の変更、市の上位計画・関連計画の見直し、市民ニーズ等に対応するため、計画期間の中間年である令和4年度に事業や目標値等の見直しを行います。

併せて、幼児期の教育・保育事業及び地域子ども・子育て支援事業に設定している「量の見込み」については、計画期間の中間年である令和4年度に、令和5・6年度の計画値の見直しを行い、「量の見込み」が適切に確保できるよう「確保の内容」を改めて設定します（中間見直し）。

令和6年度は、令和5年度の点検・評価を行うと同時に、令和5年度に実施する市民アンケート調査（ニーズ調査）の結果を踏まえ、成果指標の達成状況等計画全体の評価を行い、次期（第三期）計画の策定に反映させることとします。

3 点検・評価の内容、実施方法

点検・評価は次の項目について行います。

(1)	個別施策に位置付ける主な事業（個別事業）の実施状況
(2)	幼児期の教育・保育事業と地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」と「確保方策」の進捗状況

(1) 個別事業の実施状況の点検・評価

個別事業 94 事業の実施状況については、実績数値の評価に加えて、数値だけでは把握できない部分について施策を推進する過程や内容の評価を行うこととし、次の①～⑤について点検・評価を行います。

①事業の進捗状況

[指標を定めている事業]

個別事業94事業のうち60事業に指標を定めています。複数の指標を定めた事業があるため、指標数は計80指標あります。この80指標について、令和3年度実績値の目標値に対する進捗率に応じて、4段階で評価します。

進捗率の計算式： $\{(実績値 - 基準値) \div (目標値 - 基準値)\} \times 100\%$

A	順調に進み目標値に近づいているまたは目標値を達成している (進捗率75%以上)
B	Aには達しないものの基準値より上昇している (進捗率0%超75%未満)
C	基準値と同じ(進捗率0%)
D	基準値から後退している(進捗率がマイナス)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を実施しなかった場合は、進捗状況の評価を行いません(「-」と表記)。

[指標を定めていない事業]

個別事業94事業のうち指標を定めていない34事業については、事業自体の進捗状況を4段階で評価します。

A	計画以上に進んでいる
B	計画どおり順調に進んでいる
C	計画どおりに進んでいない
D	計画より遅れている

②令和3年度の実施状況

③令和3年度決算額(参考として令和4年度予算額を記載)

④令和3年度の取組の成果、課題

⑤今後の取組の方向性

(2) 「量の見込み」と「確保方策」の進捗状況の点検・評価

教育・保育事業の令和3年度の「量の見込み」の実績及び「確保方策」の進捗状況を把握し、点検・評価を行います。

個別事業の進捗状況

(1) 指標の進捗状況

	A	B	C	D	—	計
基本目標 I	1 50.0%	0 —	0 —	1 50.0%	0 —	2
基本目標 II	13 46.4%	4 14.3%	0 —	10 35.7%	1 3.6%	28
基本目標 III	13 43.3%	5 16.7%	0 —	12 40.0%	0 —	30
基本目標 IV	6 30.0%	2 10.0%	2 10.0%	10 50.0%	0 —	20
計	33 41.3%	11 13.8%	2 2.5%	33 41.3%	1 1.3%	80

上段：指標数 下段：指標数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

80指標のうち、Aが33指標（41.3%）、Bが11指標（13.8%）で、これら44指標（55.0%）で基準値よりも上昇しています。Cが2指標（2.5%）あります。

Dが33指標（41.3%）ありますが、このうち20指標（基本目標Iの1指標、IIの6指標、IIIの5指標、IVの8指標）については、事業は実施したものの新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により実施箇所・施設数や実施回数を減らした等のため、実績値が基準値よりも減少したものです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業を実施しなかったものが1指標ありました。

(参考) 令和2年度（一昨年度）の進捗状況

	A	B	C	D	—	計
基本目標 I	1 50.0%	0 —	0 —	1 50.0%	0 —	2
基本目標 II	14 50.0%	4 14.3%	2 7.1%	6 21.4%	2 7.1%	28
基本目標 III	12 40.0%	4 13.3%	0 —	12 40.0%	2 6.7%	30
基本目標 IV	4 20.0%	1 5.0%	4 20.0%	10 50.0%	1 5.0%	20
計	31 38.8%	9 11.3%	6 7.5%	29 36.3%	5 6.3%	80

上段：指標数 下段：指標数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

令和2年度（一昨年度）との比較では、Aが3指標増加、Bが2指標減少、Cが4指標減少、Dが4指標増加、未実施の事業は4事業減少となりました。

(2) 指標を定めていない事業の進捗状況

	A	B	C	D	計
基本目標 Ⅰ	3 100.0%	0 -	0 -	0 -	3
基本目標 Ⅱ	9 50.0%	7 38.9%	2 11.1%	0 -	18
基本目標 Ⅲ	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	0 -	9
基本目標 Ⅳ	0 -	3 75.0%	1 25.0%	0 -	4
計	17 50.0%	13 38.2%	4 11.8%	0 -	34

上段：事業数 下段：事業数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

指標を定めていない34事業のうち、17事業がA、13事業がBで、これら30事業で計画以上または順調に進んでいます。4事業がCで、Dの事業はありませんでした。

(参考) 令和2年度（一昨年度）の進捗状況

	A	B	C	D	計
基本目標 Ⅰ	0 -	3 100%	0 -	0 -	3
基本目標 Ⅱ	9 50.0%	9 50.0%	0 -	0 -	18
基本目標 Ⅲ	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	0 -	9
基本目標 Ⅳ	0 -	3 75.0%	1 25.0%	0 -	4
計	14 41.2%	18 52.9%	2 5.9%	0 -	34

上段：事業数 下段：事業数の割合（小数点以下第2位で四捨五入）

令和2年度（一昨年度）との比較では、Aが3事業増加、Bが5事業減少、Cが2事業増加となりました。

個別事業の実施状況

別紙【資料3】のとおり

量の見込みの実績と確保方策の進捗状況

別紙【資料4】のとおり